

かみさま ことば 神様の み言葉

たからもの -すばらしい 宝物

せいしょには、かみさまがご自分のこどもに あてた
メッセージが いっぱい つまっています。せいしょを
よむと、かみさまがだれかや、かみさまがわたしたちを
あい 愛してくださっていること、わたしたちに なに
のぞ 望んでおられるかや、かみさまのおも ね
の 思いが 分かります。

せいしょものがたり かみさま
聖書物語には、かみさまがわたしたちを どのように
み 見ておられるかや、かみさまがわたしたちの せいがつ
いち 一部に なりたがって おられる ことや、かみさま
のぞ 望んで おられるように 生きるには
どうしたら いいかなどが えがかれています。
まわりの ひとたちを おも 思いやり、どんな じょうきょう 状況でも まんぞく
自分の 役割を きちんと 果たし、は ひとを 尊重し、
かみさまが せわ 世話し ぼご 保護して くださる ことを しんらい
のぞ 望んで おられるように 生きるには 信頼する
ことが 学べるのです。

ことば ひら ひかり はな
「み言葉が開けると光を放って、
むがく もの ちえ あた
無学な者に知恵を与えます。」

こうごやくせいしょ しへん
(口語訳聖書、詩篇 119:130)

まいにち すこ
毎日 少しずつ せいしょを よみ、が
ついて 考える ことは、かみさまに ちか 近づくと ひとつの ほうほう
かみさま
神様は わたしたちに、ご自身について もっとよく
し 知ってほしいと おも 思っておられます。ですから、
せいしょを よむ ことは、かみさまの ことを もっとよく
知るのに やくぞ 役立つのです。



ダビテ王は、神様の み言葉の 中で 見つけた すばらしい
ものについての 詩篇を 書き残して います。この 祈りの 中で、
ダビテ王は 神様に こう 言っています。「あなたの み言葉は
わが足の ともしび、わが道の 光です。わたしは み言葉によって
望みを いただきます。」¹ つまり、神様の み言葉が ダビテ王に
希望と 導きを くれたという ことですね。わたしたちも それと
同じように、神様の み言葉を 読んで、自分の 進む 道を 導いて
もらえるのです。²

「わたしは、すばらしい 宝物を 見つけた 者のように、
あなたの み言葉を 喜びます。」
(新改訳聖書、詩篇 119:162参照)

聖句を 暗記して 心の 中に 神様の み言葉を たくわえる
ことも、役に 立ちます。み言葉を 暗記して おけば、必誓が
起こった 時に 神様の 約束を 思い出して、心の はげみに
することが できるからです。神様の み言葉は、勇気と 信仰と
喜びを くれ、正しい ことを するように 導いて くれるのです。

¹ 口語訳聖書、詩篇 119:105, 114

² 口語訳聖書、詩篇 119:133

